

傍訓
挿畫
刑法註釋

岡崙策郎註釋

下

特39

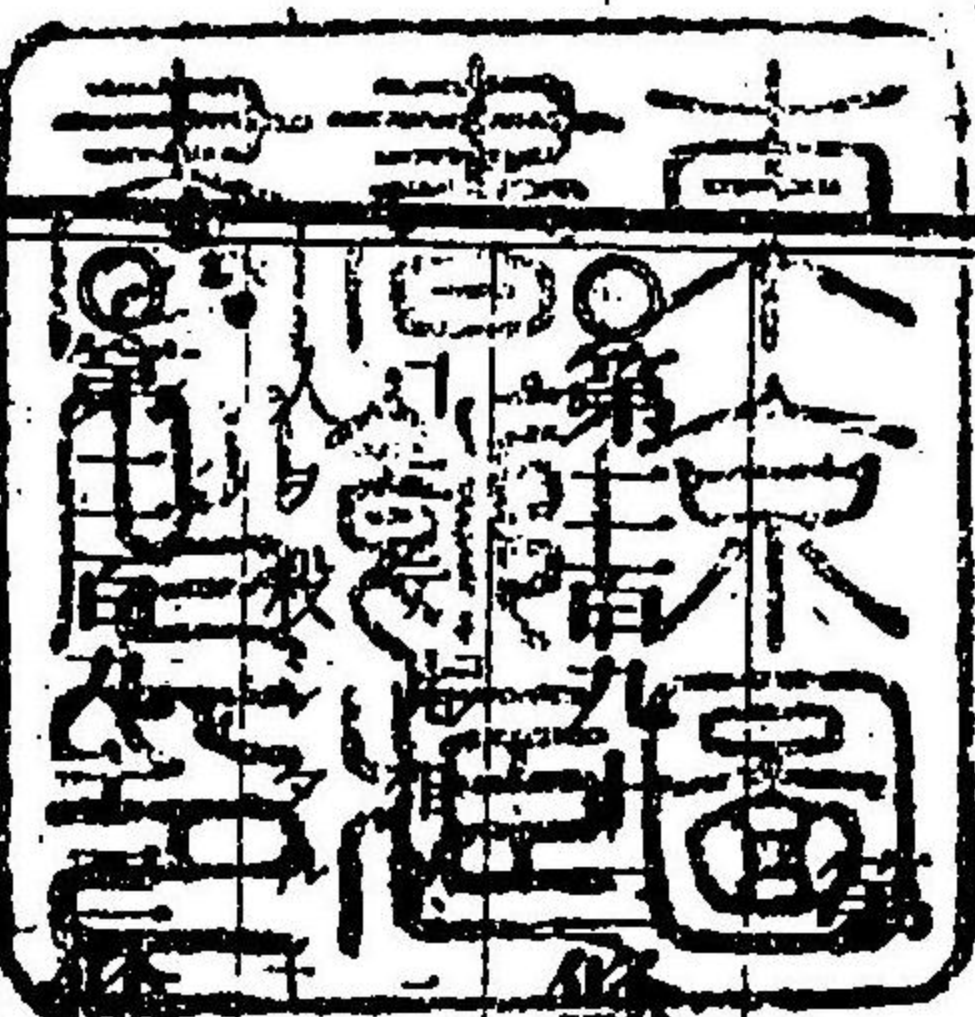
802

東 京 圖 書 館

新 門 四 四 函

一 部 三 架

類 號



第三編 凡テ二章 百三十三條

身體財產ニ對スル重罪輕罪

第一編ハ總則トテ刑法ニ依リテ用スル例規ヲ書ノセ此第二編ハ公益

トテ世間一體ノ利益ニカ、ハル重輕ノ惡事ト其仕置トヲ書ノセ此第三編ニ至テハ一人一已ニカ、ワル重輕ノ惡事ト其仕置トヲ書載ナリ而シテ一人一已ニ對スル惡事トシテ人ノカヲダヤ生命ニカ、ワルモノアリ財產トテ金錢又ハ品物ニカ、ワルモノアリ此編ハ即チ身體ト財產トニ向ヒテナセル重輕キ惡事輕キ惡事並ニ其惡事ヲ罰スル仕置ヲ書ノスルモノナリ

第一章 凡テ十二節 七十四條

身體ニ對スル罪

身體ニ對スルトハ人ノカヲダニ向フニテ此章ハ人ノ命ヲ初メ人ノ面目ニカ、ワルマ

テ殺ベテ人ニ向ヒ為シタル惡事ノ次第ヤ其仕置ノ區別ヲ書載スルモノナリ

節

謀殺故殺ノ罪

謀殺トハ相謀シテ殺シ故殺トハ其時ノ出キ心ニテ殺スルニテ其所業ヲ仕置ノ區別ヲ云フナリ

豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト為シ死刑ニ處ス

豫メ謀ルトハ二種アリ一ツハ人ニ相談シ一ツハ我胸ニ相談スルナリ此二種ノ相談ニテ

毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

毒物ニナリハ相謀シテ人ヲ殺ス惡事トナシ死罪ニ申付ルナリ

ヒテ人ヲ殺シタルモノハ相謀スルモニカ、ワラス相謀ノ上殺シタモノト取極メテ死罪ニ申付ルナリサテ此毒ニナル物ヲ遺ウトハ毒薬ヲ吞スルバカリニテハナク毒薬ノ匂ヒヲ喫セテ殺スモアリ又ハカラダニ塗リ付テ殺スモアリ或ハ吞食ノ物ノ其毒ニナルヲ食ヒルモアリテ其仕事ハ種々アルモノナリ

○第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト為シ無期徒刑ニ處ス

ノナリ其テキ心ヲ人ヲ殺シタルモノハ故サラニ殺スノ惡事トナシ無期徒刑ニ申付ルナリサテ同ジ人ヲ殺スニ仕置ノ重キト輕キトアルハ前ニ定メタルハ前以テ人ヲ殺ス積リニテ人ヲ殺スユヘ其仕置重ク此條ノ人殺ハ元ト殺ス積リハナク其場ノハツ三ニテフト殺シタルナレバ前以テ殺ス心組ニテ殺シタルニ比ベルハ其ヤウスガ大ニ違フモノナレバ其仕置ガ一段輕ク斯ク差別ノナスモノナリ

○第二百九十五條 支解打割其他慘刺ノ所為ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

心組ニテハナク其場ノハツ三ニテフト殺シタルモ支解トテ手足ヲキリホドキ打割トテ手足ヲ折リカラダヲ割キ其外何ニヨラズ無殘ノ仕事ニテ殺シタルモノハ死罪ニ申付ルナリ

○第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル為メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、為メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

國重キ惡事輕キ惡事ヲナスニ勝手ヨキ為メ又ハモハヤシタル惡事ヲ造ル、タメ人ヲ殺シタルモノハ前以テ殺ス積リ

デバナク其場ノハツ三ニテキ心ヲ殺シタルモ死罪ニ申付ルナリ

○第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陥レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

人ヲ殺ス積リニテ處テ云フテ進レ出シ例ハバ柄レタ橋ヲ壊カナト云ヒテ渡ラシ水へ落シテ死

ナスルノ類ナルモノハデキ心ヲ殺シタ仕置ニナシ前以テ心組テナシタルハ相謀シテ殺シタル仕置ニ取計フナリ

○第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀殺故殺ヲ以テ論ス

ハデキ心ヲ人ヲ殺ス積リ自分ノ目ザス人ヲ間違ヘテ他人ヲ殺シタルモノハ初メ相謀ノ上テ殺ス積リノモノハ謀殺ノ仕置ニ申付ルナリ

第二節 歐打創傷ノ罪 歐打創傷トハ人ヲ打蹴キテ疵ヲ付クルニテ打蹴

ノセ此節ニハ打蹴キチナシテ疵ヲ付クルモノ、所業ヤ仕置ノ區別チ云フナリ

○第二百九十九條 人ヲ歐打創傷シ因テ死ニ致シタル者ハ重懲役ニ處ス

シタルモノハ重懲役ニ申付ルナリ此條ノ人殺ハ元ト殺ス心ハ少シモナク打タ疵ノ為メニ圖ラズ死シタモノナレバ謀殺故殺ヨリハ其仕置輕クナスナリ

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ

毀敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癡疾ニ致シタル者ハ二年以上

五年以下ノ重禁錮ニ處ス 國入ヲ打敲キ疵ヲ付ケ兩目ヲツブシ兩耳ヲツンボニナシ兩手兩

キカタハニナシタルモノハ輕懲役ニ申付ケ片目ヲツブシ片耳ヲツンボニナシ又ハ片手片

足ヲ折リ其外カラダニ欠ケタル所ヲ擗テヘカタワニナシタルモノハ二年ヨリ五年マデノ

重禁錮ニ申付ル

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムニ能ハザルニ

至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

疾病休業ニ至ラスト虽モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

國入ヲ打敲キテ疵ヲ付ケ二十日ヨリ上ノ日數ノ間病氣付キ又ハ仕事ノデキヌヤウニナシ

タルモノハ一年ヨリ三年マデノ重禁錮ニ申付ケ病氣ヤ仕事ヲ休ムニ至ラザルニ至ラザルモ

ノハ一月ヨリ一年マデノ重禁錮ニ申付ケ又病氣付ズ仕事ヲ休ムズモ片カラダニ疵ヲ付タルモ

ノハ十一月ヨリ一月マデノ重禁錮ニ申付ルナリ

第三百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業癡疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シ

タル刑ニ照シ各一等ヲ加フ 國入ヲ打敲クハ多ク其場ノ争ヒヨリ俄カニ起ルモノナレバ前

數シキ片輪又ハ其次ナル片輪ニナシ又ハ死シタルモノハ前ノ條々ニ書ノセタル仕置ニ引

合セ何レモ一殷重クシテ取擲クナリ

第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆

打創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ 國重キ輕キノ惡事ヲナスニ勝手ヨキ爲メ又ハモハヤ

ノハ前條ニ定メタル如ク並々ノ打敲キシテ仕事ヲ休ミ又ハ片輪ニナシ又ハ死シタルモノ

ノ仕置ヨリ一殷重クシテ取擲クナリ

○第三百五條 二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ

現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科

ス若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルル能ハサル時

ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限

ニ在ラス 圖二人ヨリ上ノ人ガ共々人ヲ打テ疵ヲ付タルハ例ヘバ片手ヲ折リタルモノハ

ルモシヤ共々ニ打テ誰ガドノ疵ヲ付タヤラ分ラヌハ其疵ノ中デ一番重キ疵ヲ付ケシ仕

置ニ引合セ一般輕クシテ擲クナリ但シ教唆者トテ人ヲ打テ疵メタルモノハ輕クナサヌ也

第三百六條 二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人ヲ傷セスト虽モ幫助シテ傷ヲ成サ

シメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス 圖二人ヨリ上ノ人ガ共々人ヲ打テ自

付サセタルモノハ疵ヲ付タルモノ、 仕置ニ一般輕クシテ取擲クナリ

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷

スルノ例ニ照シテ處斷ス 圖人ノ違背ヲ審フヘキ品ヲ進ヒ人ヲ害メタルモノハ前以テ相談

○第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタ

ル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ス 圖人ヲ殺ス積リテナク在座ヲ云フテ建レ出シ第二百九十七條

ドシタルモノハ人ヲ打テ疵ヲナシタル仕置ニ申付ルナリサテ地條ノ人殺シモ第二百九十

七條ノ人殺シモ親ス手親ハ同メウナレモ親ス積リテ殺シタルト親ス積リテナク殺シタルト

ノ差ヒアルユヘ斯ク仕置ニモ差別アル

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪 圖殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪トハ

惡華ノ仕置ヲ減シテ輕クシ又ハ仕置ノ沙汰ニ及バヌニテ此テノ所業ヤ仕置

ノ區別ヲ云フ但此節ガ即チ總則第八十四條ニ云フ特別ノ宥恕又ハ不論罪ナリ

○第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因リ直チニ怒ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ

其罪ヲ宥恕ス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス 圖自分ノガタ

圖之取共人殺



此林補版

非起シタルモノハ
輕クハナサヌナリ

○第三百十條 殴打シテ互ニ創傷シ其手下スノ先後ヲ知ルコト能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルコトヲ得 圖 打合フテ 兩方互ニ 傷ヲナシドテテガ先ヘ手ヲ出シタヤテ分ラヌモノハトチテモ其惡事ヲ宥メ 恕シテ仕置ヲ輕クスルコトアルナリ

○第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直チニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス 圖 夫ガ自分ノ 妻ノ他人ニ姦通シテ 辱ル場所テ直チニ 兩男ト 兩女トヲ殺スガ 或チツケタルハ 其夫ノ 惡事ヲ宥メ 恕シテ仕置ヲ輕クスルナリサレド 夫ガ其前ニ 姦通ヲユルズガ又ハ 女房ト 相談ツクテサセタルナレハ輕クハナサヌナリ

○第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス 圖 晝間ニ此レト云フワケモナキ 又ハ 門戸 牆壁 ナドヲ 破リ 越ヘヌハ 毀ツテ 閉ギ止メル 爲メニ 殺シヌハ 毀チ 梯タルモノハ 其罪ヲ宥メ 恕シテ仕置ヲ輕クナスナリ

○第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス前ノ條々ニ書ノゼタル宥恕トテ宥メ 恕スベキ惡事ヲ仕置スルハ 何レモ 當リ前ノ仕置ニ引合セ二眼又ハ三眼輕クスルモノナリ

○第三百十四條 身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムコトヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス 圖 人ヨリ手荒キコトヲ仕向ケラレ 自分ノ 體ヲ命ヲ助カル 爲メ例ク 逃チバ 危イト云フ 場合ニ 至リヨギナク 暴行人ヲ 殺スガ 或チ 付タルモノハ 自分ノ ためニシタルハ 勿論 他人ノ ためニシタルニ 仕置ノ 沙汰ニ 及バヌナリサレド 不筋ナコトナシテ 自分テ 手荒キコトヲ 仕向ケラレ、ヤウニ ナシタルモノハ 及バヌナリ

○第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス 圖 比下ニ書ノスル一二三ノ 事柄ニテ 余義ナク 人ヲ 殺シヌハ 或チ 付タルモノハ 仕置ノ 沙汰ニ及バヌナリ

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出タル時 圖 自分ノ 所持ノ 金銀ヲ 初メ

其場スベテ乱暴ヲナス
モノヲ防キ止メル時

二 盗犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時 圖ド口ボウヲ防キ止メ又ハ盜マレ品ヲ取リカヘヌ時

三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スル

二出タル時 圖夜中ニ地レト云フワケナク人ノ住居シタル家屋敷ニ立入り又ハ門戸垣塼ナドノリゴヘ又ハ觀ツモノヲ防キ止メル時

○第三百十六條 身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ムヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人

ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ無シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不諭罪ノ

限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルヲ得 圖身體又ハ所持

ル為メトハイヘド余義ナキ凶犯ニハアラヌシテ乱暴人ヲ手コメニナシ又ハ難儀ガモハヤ

止ミタル後テ勢ニ乘リ尚ホ乱暴人ヲ手ゴノニナシタルモノハ仕置ヲ免サヌナリサレドヤ

第四節

過失殺傷ノ罪 圖過失殺傷トハ誤テ人ヲ殺シ又ハ傷ヲ付ルニテ其

宥メ恕シテ仕置ヲ輕クスルヲモアルナリ

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十

圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス 疎虞トハ氣ノ付メヲ云ヒ懈怠トハオコタリヲ云ヒ規則ハ定メ慣習ハ習ハシニテ之ニ從ハズ誤ニ依テ人ヲ死シタ

モノハ二十圓ヨリ二百圓マデノ罰金ノ申付ルナリ

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱瘓疾ニ致シタル者八十圓以上百圓以下ノ罰金ニ

處ス 前ニ記シタル如キノ誤リニテ人ニ疵ヲ付ケ片輪又ハ齒シヤ片輪ニナシタルモノハ十圓ヨリ百圓マデノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者八十圓以上五十圓以下

ノ罰金ニ處ス 誤リニテ人ニ疵ヲ付ケ疾病カ又ハ仕業ヲ休ムヤウニナシタルモノハ二十圓ヨリ五十圓マデノ罰金ヲ申付ルナリ

第五節 自殺ニ關スル罪 自殺トハ自分ノ命ヲ捨ルルニテ此節ハ勸メテ自殺セシメ又ハ手傳ヲナシタル仕業ト仕置ノ

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル

傍訓 刑去住學 第三編 身体ニ對スル罪 ○八十一 七 寸 裁 取

者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補
 助ナ爲シタル者ハ一等ヲ減ス 國人ヲ咬カシテ自害ヲナサシメ又ハ鞭ヲ受ケテ自害スル人
 十圓ケ十圓ヨリ五十圓マデノ罰金ヲ併添ヘ其外自害スル人ノ手帳ヲナシタルモノハ此仕
 置ヨリ一段輕クシテ擲クナリサテ此自害トハ及物ヲ以テ自分ニ死ヌルバカリニテハナク
 陷穽リ身救ゲ怖死ナド總テ自分ガ
 自分テ命ヲ捨ルハ皆自害ナリ

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス 自己
 圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシムルトハ附ヘバ一家ヲ相殺シヨウト思ヒ相續人ヲ齎メテ自害サス
 ルノ類總ベテ自分ノ利得ノタメニ人ヲ自殺セシメタルモノハ重懲役ニ申付ルナリ

第六節 擅二人ヲ逮捕監禁スル罪 擅二人ヲ逮捕監禁スルトハ我低勝手ニ
 業ヤ他置ノ區別ヲ云フナリ但此節ニ書ノセル所ハ平人ノ爲シタルニテ役人
 ノナシタルトハ第二百七十八九ノ兩條ニ書ノセタリ

第三百二十二條 擅二人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁
 錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ 我

錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ 我

終勝手二人ヲ奪取リ又ハ我家ニ閉込メ置タルモノハ十一日ヨリ二月マデノ重禁錮ニ申付ケ二回ヨリ二十回マデノ罰金ヲ付添ヘル但シ閉込メ置日數ガ十日ヲ過グレバ十日ニ限ラ重クシ假令十日目十日目二限ツ、重クナスナリサテ此後終勝手二人ヲ召捕トハ惡事モナサメモノヲ召捕トニテ惡事ヲナシタル者ヲ召捕ルハ治罪法ト云フ候ノ第百五條ニ條人ニ限ラズ重罪輕罪ノ現行犯アル場合ニ於テハ血ヲ二被害人ヲ逮捕スルコトハ得トアレバ元ヨリ平人ニテモ召捕ル分限アルナリサレド我家ニ閉込メオクコトハ許サスナリ

○第三百二十三條 擅ニ人監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刺ノ所為ヲ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三回以上三十回以下ノ罰金ヲ附加ス

○第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

○第三百二十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス

在置ト引比ラバドテナリ

在置ノ重キ方ニ取捌クナリ

傍訓 刑法止釋 第三編 身体ニ對スル罪 ○八十二 北村裁版

第三百二十五條 擅二人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節

脅迫ノ罪

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

歐打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財產ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

火ヲ傳ルナド、オドシタルモノハ一月ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ケ二月ヨリ四月マデノ罰金ヲ付添ヘ打テ疵ヲ付ケ其外乱暴ヲナスベシトオドシ又ハ所持ノ品庫庫ニ火ヲ付ケ或ハ打毀シ奪取ルナド、オドシタルモノハ十一月ヨリ二月マデノ重禁錮ニ申付ケ二月ヨリ四月マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

トシタルモハ何レモ一段重ク取計フナリ

○第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ類ノ

モノニワサワイチナス可キ事ヲ以テ脅迫シタルモノハ十八リ前二條ノ掟ニ引合セテ取

○第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪

ヲ論ス此節トハ脅迫ノ罪ト書ノセタル節ニテ第三百二十六條ヨリ此條マデヲ云フソシテ此惡事ハナドシ付ラレタルモノ又ハ其親類ノ者ヨリ訴へ出タル片ニアラザレバ

第八節 墮胎ノ罪墮胎トハ孕ミタル子ヲオロスニテ其所業ヤ仕置ノ區別ヲ云フナリ

○第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ重

禁錮ニ處ス身ヲ擗ノ女ガ藥ヲ用ヒ又ハ其外種々ノ手段ニテ子ヲオロシタルモノハ一月ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ルナリ

○第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死

ニ致シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス
申付ケ夫レガ爲メ女子死シタルモノハ一年ヨリ
三年マデノ重禁錮ニ申付ルナリ

第三百三十二條 醫師糞婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ
何レモ一段重クシテ取捌クナリ

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
國身持ノ女子ヨドシ付ケ及ハダマシテ子ヲオロサセタルモノハ一年ヨリ四年マデノ重禁錮ニ申付ルナリ

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス
持ノ女子知リナガラ打毆キ其外手荒キヲナシテ子ガオリルヤウニナシタルモノハ二年ヨリ五年マデノ重禁錮ニ申付ケ初メヨリ子ヲオロサセル心組ニテ打毆キ又ハ手荒キヲナシタルモノハ輕懲役ニ申付ルナリ

第三百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ殘傷疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス
合セ其仕置ト比ヘテ見テトチラナリ

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪
ノモンヲ捨テルノ所業ヤ其仕置ノ區別ナク云フナリ

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス
自ラ生活スルヲ能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ



國年ガ八ツニ屆カヌ子供ヲ捨タルモノハ一月ヨリ一年マデノ重禁錮ニ申付ケ自分デ暮シ方
ノデキ又年寄ヤ病人ヲ捨タルモノモヤハリ同シ仕置ニ申付ルナリサテ此捨ルト云フハ自
分ニ連テ往テ捨置バカリニアラス自分ノ内ニ置去リニナシタルモヤハリ捨タルモノナリ

第三百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥聞無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以

上四年以下ノ重禁錮ニ處ス 國年ガ八ツニ届カヌ子供又ハ八年寄病人ナドヲサビシク人ノ居

リサテ同シ所業ナルニ前條ト此條ト位置ニ違カビカアル釋合ハ前條ノ所業ハ同ジ捨ルニ
モ人ガ取上ゲ又ハ助ケテ與ルヲ目途ニ捨タルナレバ此條ノサビシキ人ノ居ラヌ所ニ捨タ
ルト其心入レガ異ナルユヘ位置モ輕キナリ此條ノ所業ハ飢テ死ルモ猛キモモノ、カミ殺
スモ壓ケヌ心入ナレバ斯ク位置ヲ重クハナセシナリ

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可キ者前條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一

等ヲ加フ 國給金ヲ貰ヒ子供又ハ八年寄病人ヲ人ヨリ預リテ世話スルモノガ前條々ノ惡事ヲ
ナシタル片ハ何レモ一段重クシテ取捌クナリ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ痲疾ニ致シタル者ハ輕懲復ニ處シ痲疾ニ致シ

タル者ハ重懲復ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス 國子供年寄病人ヲ捨テ夫レガタ
ニ申付ケ甚ダシキ片輪ニナリタルモノハ重懲復ニ申付ケ死シタモノハ有期徒刑ニ申付ル
ナリ

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルヲ

知テ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルヲ知テ扶助セス又ハ申告セサル者亦同シ 國自分ノ持地

地面ノ内ニ捨テレタル子供年寄病人ノアルヲ知リナカラ助ケモセス復所ヘモ申出ヌモノ
ハ十五日ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ケモシ病氣ガ起リ目マイナトシテ倒レテ居ルモノ
ヲ知リナカラ助ケモセス復所ヘモ申出ヌモノハ前ト同シ位置ニ申付ルナリ

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪 國幼者ヲ畧取誘拐スルトハ子供ヲカドワカ

コトモ 幼者ヲ畧取誘拐スル罪 國幼者ヲ畧取誘拐スルトハ子供ヲカドワカ

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交

附シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國年ガ

届カヌ子供ヲカドワカシ又ハタマシテ連レタシテ隠シ置キ又ハ他人ニ引渡シタルモノハ
二年ヨリ五年マデノ重禁錮ニ申付ケ十圓ヨリ百圓マデノ罰金ヲ付添ルナリ

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付

シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交附シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 他人ニ引渡シタルモノハ一年ヨリ三年マデノ重禁錮ニ申付ケ

五圓ヨリ五十圓マデノ罰金ヲ付添ヘ又ダマシテ連レ出シテ隠シ置キ又ハ他人ニ引渡シタルモノハ六月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ケ二圓ヨリ二十圓マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第三百四十三條 略取誘拐シタル幼者ナルコトヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名

稱テ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス 國カドワカシ又ハタマシテ

第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但

略取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴ノ効ナシ 國前ノ條々ニ書クセ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ略取誘拐シテ外國人ニ交付シタル者ハ輕懲復ニ

處ス 國年ガ二十二届カヌ子供ヨカドワカシ又ハ欺シテ連出シ他國ノ人ニ引渡シタルモノ

第十一節

猥褻姦淫重婚ノ罪 國猥褻トハ三ダラナルコト姦淫トハ不節ナ色事

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ

對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ一年以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國年ガ十二届カヌ男女ニ對シ向ヒ亂暴ヲナシ又ハヲドシ付テ三ダラ

ナル所業ヲナシタルモノハ一月ヨリ一年マデノ重禁錮ニ申付ケテ二圓ヨリ二十圓マデノ罰金ヨ付ケテ派ヘルナリ但シ既ニトアルハ男カ男ニ向ヒ女ガ女ニ向フテナセルトモ籠リ居ル故ナリ

○第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

又男女ニ向ヒ乱暴ヲナシ又ハチドシテミダラナル所業ヲナシタルモノハ二月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ケテ四圓ヨリ四十圓マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

○第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲復ニ處ス

藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯乱セシメテ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

○第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者ハ輕懲復ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲復ニ處ス

又ニ強テ色事ヲナシタルモノト同シ仕置ニ申付ルナリ

○第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

○第三百五十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス但強姦ニ因テ癩癧疾ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

○第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル

者亦同シ

此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ姦通ヲ從容シタル者ハ告訴ノ効ナシ

國亭主ノアル女ガ人ト密通シタルモノハ六月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ケ其罪即チ間夫モ同ジ仕置ニ申付ルナリ左レド此惡事ハ亭主ヨリ訴出チバ仕置ノ沙汰ニ及バスナリ但其前密通シテ居ルモノハ亭主ガ知リナガラユルシテ居ルモノハ訴出ルモ取上スナリ

第三百五十四條 配偶者アル者重テ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ

處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國連合ノアルモノガ又タ婚禮ヲナシタル時例ハルモノガ又タ嫁入スルノ類ハ六月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ケ五圓ヨリ五十圓マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第十二節

誣告及ヒ誹毀ノ罪 國誣告及ヒ誹毀トハ誣告ハ無キコト有ルヤウカ、ワルヤウナ惡口ヲ云ヒ觸スコニテ此ラノ所業ヤ仕置ノ區別ヲ云フナリ

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第三百二十條ニ記載シタル偽証ノ

例ニ照シテ處断ス 國不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告スルトハ例ハ惡事ヲナサヌ人ナ惡事ヲナ條ノ處ノ誣証立チヲナシタル類ニ引合シテ仕置申付ルナリナゼトナラバ處ノ誣証立ト言判ト軒ハ變レド人ヲ罪ニ陷レル心入レハ同ジコトナレバナリ

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタル

時ハ本刑ヲ免ス 國無キコトナルヤウニ云カケシテ訴出タリモ被告人ノ吟味ヲ始メスニ前當リ前ノ仕置ヲ免スナリ此條ノ仕置ヲ免スハ總則ノ自首減輕ニハアラス第八十八條ニ云フ本條別ニ自首ノ例ヲ掲グルモノ此レナリ

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル時ハ第三百二十一條第三百二十二

條ニ記載シタル例ニ照シテ處断ス 國無キコト有ルヤウニ云カケシテ訴出デタルニヨリ被

告人ガ仕置ニナリタルルキハ第三百二十一、二兩條ニ定メ

第三百五十八條 惡事執行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ

照シテ處断ス 國惡シキコト醜クキコトアラハシテ人ヲ誹毀シタルモノハ有ル事無キ事ニカ

一 公然ノ演説ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上

三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國表向キノ演説ヲ人ヲソシリタル者ハ十一日ヨリ三月マ

二 書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下

ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國書類トハ物ノ本新聞雜誌其外

外一切ノ繪圖面ニテ之ヲ世間へ廣ノ又雜劇トハ芝居狂言偶像トハ人形ニテ此ラニ仕

組ナドシテ人ヲソシリタルモノハ十五日ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付五圓ヨリ五十

圓マデノ罰金ヲ 付添ルナリ

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ

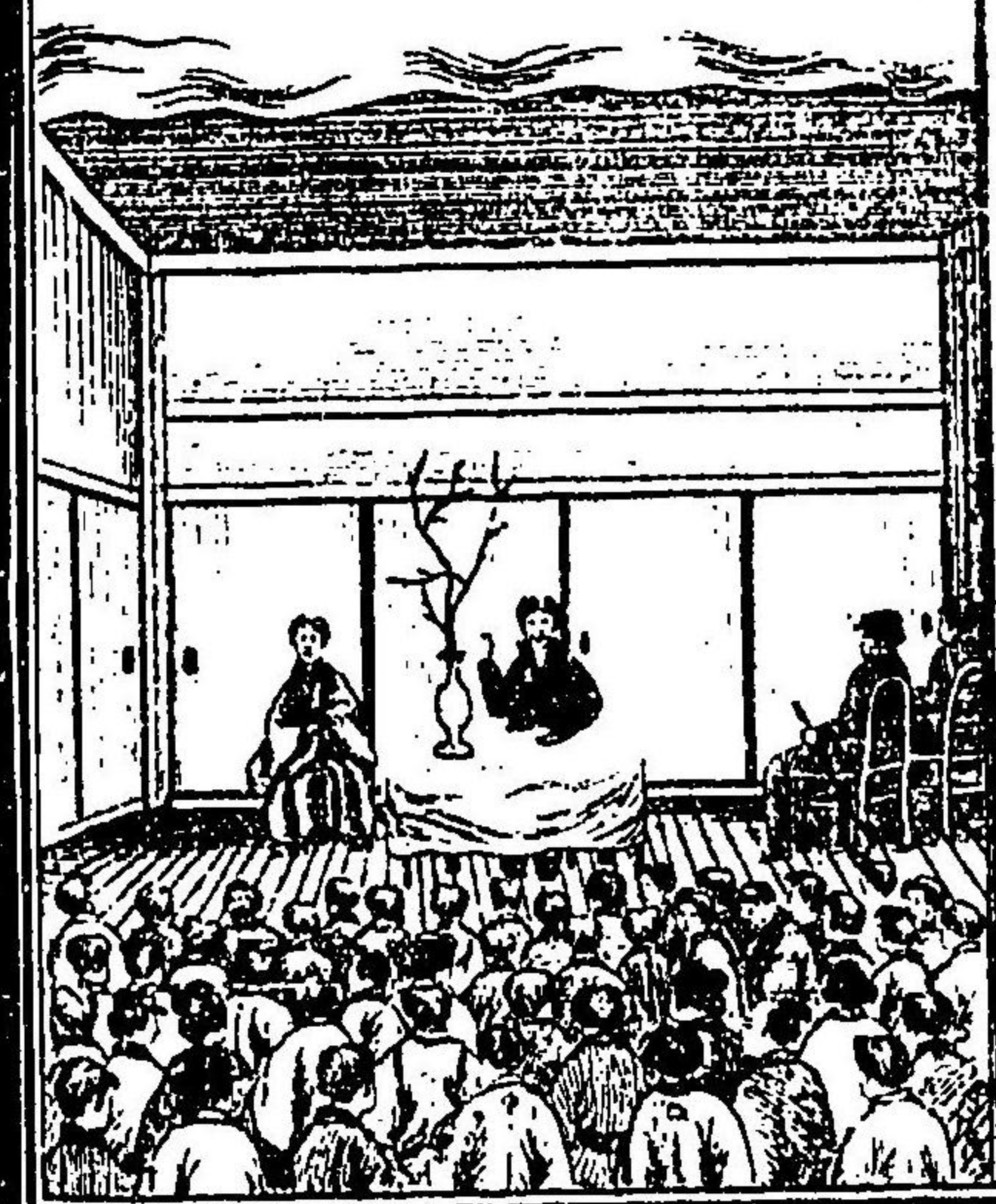
出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコト

ヲ得ス 國死ダヒ人ヲソシルモノハ無キコト有ルヤ

合シテ仕置スル

一ハナラヌナリ

演説會之圖



○第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧侶其身分職業上ニ於

テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知り得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上

三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事

實ニ陳述スル者ハ此限ニ在ラス 國醫者兼風取上ガ兼及ハ代理人辯護人代書人或ハ穩婆

ヘ告ゲ知ラシタル者例ヘハ医者ガ兼治ヲ兼レ其人ノ應シキ病ヲアルコト云屬シ又ハ代書

人ガ兼レク人ノ相手方ニ向イ親シク人ノ誣知ヲ手續チ断スルノ類ハ人ヲソシリタルモノ

トナシ十一月ヨリ三月マデノ重禁錮ニ申付ケ三圓ヨリ三十圓マデノ罰金ヲ付添ル左レド

裁判所ヨリ呼出サレ知リ居ル所ノ事柄ノ始末ヲ申立ルハ此限ノ外トナスナリ

○第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪

ヲ論ス 國此節トハ誣告及ヒ誹毀ノ罪ト書ノセクル節ニテ第三百五十五條ヨリ此條マデヲ

誣出デ子バ仕置ノ沙汰ニ及バズナリ

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪 祖父母父母ニ對スルトハ子ヲ孫ガ祖父

傍訓 刑去生 第三編 身體ニ對スル罪 ○八十九 七 討 裁 版

惡事十其仕置ノ區別ヲ云フサテ我親又ハ祖父母ハ此上モナキ大切ナルモノナ
レバ別段ニ此處ヲ定メクルモノナリ

○第三百六十二條 子孫其祖父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス 又ハ親ヲ相談ノ上
テ殺シ又ハデキ心ヲ殺シタルモノハ死罪ニ申付ルナリ 但此子孫祖父母トハ第百十五
條ニ書ノセタル種々ノ子孫祖父母トハヒツクルメテ云ヘルナリ 此下ニ書ノスルモノ加同ジ

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ 國子孫ガ祖父母親ナドニ向ヒテナセル
引合セ二段重ク
シテ取捌クナリ

○第三百六十三條 子孫其祖父母ニ對シ毆打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪
ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ 但瘡疾ニ致シタル者ハ有

期徒刑ニ處シ 篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ 死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス 國子孫
親ニ向ヒテ擗撃キ死ヲ付ル罪其外卑人トシテドシツケ又ハ擗去リ或ハ無キトナ有ルト云カケ
テ訴出デ又ハソシタル片ハ夫々ノ提ニ書ノセタル並々ノ人ノ仕置ニ引合セ二段重クナ
スナリ 但片輪ニナシタルモノハ有期徒刑ニ申付甚シキニ片輪ニナシタルモノハ無期徒

刑ニ申付ケ死シタルモノハ死罪ニ申付ルナリ

○第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ 國子ヲ孫ガ祖父母親ニ向ヒ着物又ハ吞

子ハナラヌヲセヌモハ十五日ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ケ二圓ヨリ二十圓マデノ罰金ヲ附加ス其ガ爲ノ病氣付クカ又ハ死シクモハ前條ニ定メタル提通リニ取計フナリ

○第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ有怨及ヒ不論罪ノ例ヲ用フル

ヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラズ 國祖父母親ニ向ヒテナセル殺スカ疵ヲ付

クスル提又ハ仕置ノ沙汰ニ及バヌノ提ニ引合スコハナラヌナリ例ハ第三百十四條ニ身

休テ生命ヲ助ケタルノ乱暴人ヲ打殺ス片ハ仕置ノ沙汰ニ及バヌ定メナレ片親ヤ祖父母カ

ヲ乱暴ヲ受ケタル片親十祖父母ヲ打殺シタ片ハハハリ親ヤ祖父母ヲ殺シタ仕置ニ申付ル

ハ親ナリ左レド其惡事ヲナス片祖父母親ト云フコトヲ知ラザリシモノハ此提ノ外ナルベシ

第二章 凡テ十節 五十九條

財產ニ對スル罪

國財產ニ對スル罪

財物ニ向フコトニテ此章ハ人所持スル地畝家

第一節

竊盜ノ罪 竊盜トハ人ニ知ラレヌヤウニ人ノ金銀品物ヲ盜取ルコトニテ此ラノ惡事ヲ仕置ノ區別ヲ云フナリ

○第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

此人ノ所有物トアルハ總テ自分ノ物デナソト云フ譯ナレバ並々ノ人ノ所持ノ物ニハ限ラヌナリ左スレバ大祀ノ神寶神物ヲ初ノ役所ノ持分ノ品ナドモ此中ニ籠レルナリ又竊取トハ人ノ知ラヌヤウニ取ルコトナレバ夜昼ノ分チナク家ノ内外ニカ、ワラヌナレバ擄擄ノ類モ此中ニ籠ルナルベシ

○第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

此ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

○第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

○第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

三百六十六七八條ノ惡事ヲナシタルモノハ何レモ一段重クシテ罰クナリ

○第三百七十條 兇器ヲ携帶シテ人ノ住居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲復ニ處ス

持テ人ノ住居シタル家屋敷ニ立入り竊盜ヲナシタルモノハ輕懲復ニ申付ルナリ

○第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

自己ノ所持ノ物ニテモ質物ニシテ他人ヘ引渡シ又ハ復所ノ指圖ニテ他人ガ番ナシタル片内々盜取タルモノハ竊盜ノ仕置ニ罰クナリ

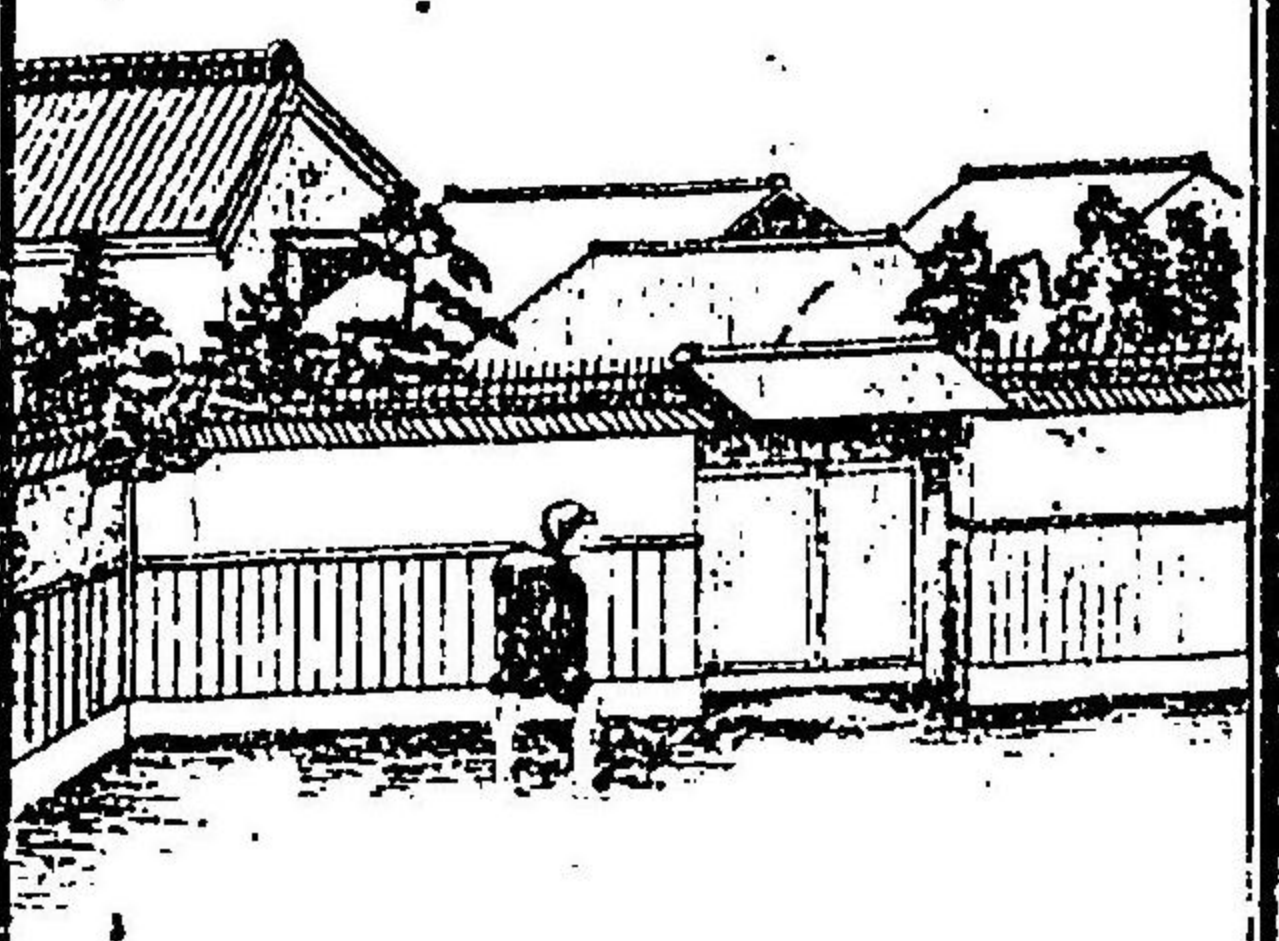
○第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

田畑ノ野ナド親モノ類ヤサノ物成物共外デキテナル品物ヲ内々盜取リタルモノハ一月ヨリ一年マデノ重禁錮ニ申付ルナリ但シ此條ハ親物共外ト

重禁錮ニ處ス

モ地面ニデキテナル竊盜ム下ニテ例ヘ六米ナリ麥ナリ苧取リテクノ所ヘ積置タルヲ盜シモノハ此條ノ仕置ニサズシテ第三百六十六條ノ仕置ニ申付ベキナリ

人ノ邸宅ニ忍入竊盜スル圖



第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ

生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ 國山林ニ於テ竹木又ハ

川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ又ハシヨウバイニカ、ワルデ

第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ

處ス 國牧場トハマキトテ牛馬其外ノ毛モノヲ畜フ處ナリ此所ニテ畜フテアルモノ、類

第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケザル者ハ未遂犯罪ノ例

ニ照シテ處斷ス 國此節トハ竊盜ノ罪ト書ノセタル節ニテ第三百六十六條ヨリ第三百七十

トシテ仕遂ヌモノハ未遂犯罪ノ起ニ引合セ仕遂ゲタルモノ、仕置ニ一假又ハ二假輕クシ

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ

監視ニ附ス 國此節ニ書ノセタル惡事ヲナシ輕罪ノ仕置ニ申付ルモノハ其仕置滿限ノ後六

第三百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊

取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス 國祖父母親等主女房子孫並ビニ

若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス 國祖父母親等主女房子孫並ビニ

ナドガ互ニ其財物ヲ竊取リタルモノハ竊盜ノ仕置ニハナサヌナリ左レドモシ他人ガ組合

テ盜ヲナシ取ク品ヲ分ケケウケタルハ竊盜ノ仕置ニナスナリ

第二節 強盜ノ罪 國強盜トハ人ヲナドシ付テカクテ人ノ物ヲ奪ヒ取ルコ

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕

懲役ニ處ス 國人ヲナドシ付ケ又ハ手アラキコナシテ品物ヲ奪取リタルモノハ輕懲役ニ

申付ルナリサテ此強盜ハ隔リ込ハガリニハテハナク追ハギ追オドシテモ云ナリ

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ 國人ヲナドシ付

テナシテ品物ヲ奪ヒ取ルモノ此下ニ書載ル一ニノアリマサナル片ハ一應ゴトニ一假重ク

ナスナリ例ヘバ二人ニテ強盜ヲナセバ輕懲役ヲ一假重クシテ重懲役トナシ二人ニテ惡シ

キ道具ヲ持テ強盜ヲナセバ二人ナルニ依リ一假重クシ惡シキ道具ヲ持タルニ依リ又一假

重クシ合セテ二假重クシテ有期徒刑ニ申付ル類ナリサテ此一ニノアリサマニヨリテ仕置

刑罰 刑罰 刑罰

刑罰 刑罰 刑罰

刑罰 刑罰 刑罰

ヲ重クナス譯合ハ一人ヨリハ大勢ノ方ガ惡事モナシ易ク又其上道具ヲ持タル者ハ人ナチ
ドスニモ勝手ヨクモシ事ニ依レバ殺スカ疵付ルコモアルヲ以テ世間ノ難儀多ケレバナリ
一 二人以上共ニ犯シタル時 二人ヨリ上ノ人ガ
申合シテナシタル時

二 兇器ヲ持帶シテ犯シタル時 兇器ニシテ道具ヲ持テナシタル時 兇器ニシテ道具ハ何々ト云フ
ハ第百七十一條第二ノ註ヲ見合スベシ

第三百八十條 強盗人ヲ傷シタル者ハ無期徒
刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

ニ疵ヲ付タルモノハ無期徒刑ニ申付ケ死シタ
モノハ死罪ニ申付ルナリ

第三百八十一條 強盗婦女ヲ強姦シタル者ハ
無期徒刑ニ處ス

押付ケニ色事シタル片ハ無期
徒刑ニ申付ル
ナリ

第三百八十二條 窃盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲ノ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盗ヲ以
テ論ス

テ論ス 八ノ知ラヌイウニ盜ヲナシ品物ヲ取り其レヲ取還サレジト候ニ手荒キ一ヲナシ
オドシ付タルモノハ強盜ト同シ仕置ニナスナリ

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ
輕懲役ニ處ス

輕懲役ニ處ス 藥酒又ハ酒ナドヲ遺ヒ人ヲ醉ヒ迷ハシテ品物ヲ盜取リタルモノハ強盜ヲナ
シタモノトナシ輕懲役ニ申付ルナリ

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上
二年以下ノ監視ニ付ス

重罪ナレバ申渡サズシテ監視ハ付キ回ルナレドモシヤ種々ノヨウスニヨリ減輕シテ
輕罪ノ仕置ニナスモノハ其仕置後六月ヨリ二年マデノ監視申付ルナリ

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪 遺失物埋藏物ニ關スルトハ遺失物ハ取
捨ヒヒゲ又ハ擲出シテ自分ノ物トナシタルナドノ一ニカ、ワル所業ヤ其仕置
ノ區別ヲ云フナリ

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還附セス又ハ官署ニ申告
セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二百元以上二十元以下ノ罰金ニ處ス

傍訓 刑罰法 第三編 財產三對罪 九十三



兇器ヲ持テ強盜ノル

ノ取り落シモノ又ハ海川ニ漏レルモノヲ拾ヒテ之ヲ隠シオキ其持至ニ返サズ又ハ役所へ申出ヌモノハ十一月ヨリ三月マデノ重禁錮ニ申付ルカ又ハ二月ヨリ二十日マデノ罰金ヲ申付ルカ兩マウノ内ノ一方ニ取捌クナリ

○第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ

掘得テ隠匿シタル者ハ亦前條ニ同シ 國ノ人ノ持地ノ内ニ

掘出シテ隠シ置キタルモノハマハリ前條ト同シ仕置ニ申付ルナリ

○第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第

三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

五條ヨリ此條マデヲイフサテ此節ニ載ルセシル惡事ヲナシタルモノ第三百七十七條ノ祖父母親等主女房子孫並ビニ其連レ合又ハ一所ニ居ル兄弟姊妹ナドデアル中ハ仕置ノ沙汰ニ及バズナリ

第四節 家資分散ニ關スル罪

國家資分散ニ關スルトハ身代限ニカハワルニテ身代限リノ中不筋ナリヲナス其所業ヤ其

仕置ノ區別ヲ云フナリ

○第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二

月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介人ヲ為シタル者ハ一等ヲ減ス 國身代限リノ中其

初メ一切ノ品物ヲ取隠シ或ハ外ヘカワシ又ハ虚偽リノ借財ヲ捺ラヘタルモノハ二月ヨリ四年マデノ重禁錮ニ申付ケヤウスヲ知リナガラ虚偽リノ約束ヲ請合又ハ其仲立ヲナシタルモノハ一限輕クシテ取捌クナリ

○第三百八十九條 家資分散ノ際簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人

又ハ教人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

國身代限リノ中不筋ナリヲナス又ハ身代限ヲスル一二極リタル後一方ノ金主ダゲニ内々濟方シテ外ノ金主ハ迷惑ヲカケタルモノハ一月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ルナリ



第五節

詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

スルトハ人ヨリ預リタル品物ニカ、ハルノニテ其人ヲダマシテ物ヲ取り又ハ預リ物ヲ自供ニ遺ヒ捨ルナドノ所業ヲ其仕置ノ區別ヲ云フナリ

○第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺取財ノ罪ト為シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四円以上四十円以下ノ罰金ヲ附加ス

○第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯乱シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

○第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

○第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト為シタルモノハ詐欺取財ヲ以テ論ス

○第三百九十四條 他人ノ持運ビノナル品物持運ビノナラヌ品物ヲ自分ノモノトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第三百九十五條 自己ノ動産ト雖モ己ニ抵當典物ト為シタル者亦同シ

○第三百九十六條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第三百九十七條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第三百九十八條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第三百九十九條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百一條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百二條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百三條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百四條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百五條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百六條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百七條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百八條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第四百九條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第五百條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

○第五百一條 他人ノ持運ビノナル品物ニテモモハヤ引當貨物ト入レテアルトナシテ賣却キ又ハ取替ヘ又ハ引當貨物トナシタルモノハ人ヲダマシテ物ヲ取リタルト同シ

第三百九十四條

前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

○前ノ條々ニ書ノセタル惡事ヲナシタルモノハ其仕置滿限ノ後六月ヨリ二年マデノ監視ニ付ルナリ

第三百九十五條

受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル

者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所為アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

○預リノ品物借受ノ品物又ハ貨物其外任カサレタル金錢品物ナドヲ遺ヒ果シタ其外タマシタル所業アルモノハ人ヲタマシテ

物ヲ取りタル仕置ニ取捌クナリ

第三百九十六條

自己ノ所有ニ係ルト虽モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者

ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者ハ第三百八十八條

ノ例ニ照シテ處断ス

○自分ノ所持ニテモ役所ヨリ外ヘ動スノナラヌマウニ申付ラレタ申付ケル但シ身代限ノ内此所業ヲ為シタルモノハ第三百八十八條ニ定メタル身代限ノ内品物ヲ隠シナドシタル疾ニ非依シテ仕置申付ルナリ

第三百九十七條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ

照シテ處断ス

○此節トハ詐欺取財ノ罪及ビ受寄財物ニ關スル罪ト書ノセタル節ニテ此節ニ書ノスル惡事ヲナサントシテ仕遂ゲヌモノハ未遂犯罪ノ例ニ引合セ仕遂ゲタルモノ、仕置ヨリ一段又ハ二段輕ク取捌クナリ

第三百九十八條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係

ル時ハ其罪ヲ論セス

第六節

贓物ニ關スル罪

○贓物ニ關スルトハ不正ノ品物ニカ、ワルコトニテ此ノ所業ヤ其仕置ノ區別ヲ云フナリ

第三百九十九條

強盜盜ノ贓物ナルコトヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ為シ

タル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス

○又ハド口

ボウヲ為シテ取りタル品物デアアルコトヲ知リナガラ贓ヒ受ケ又ハ預リ置又ハ買取り又ハ賣擲キ貸入ナドノ引受人ニナリタルモノハ一月ヨリ三年マデノ重禁錮ニ申付ケ三円ヨリ三十円マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
ノハ其仕置期限ノ後六月ヨリ
二年マテノ監視ヲ申付ルナリ

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ関シタル物件ナルヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄託故買シ
若クハ牙保ヲ為シタル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰
金ヲ附加ス
人ヲダマシ其外種々ノ悪事ヲナシテ取リタル品物ト知リナガラ黄ヒ受ケ又
手マデノ重禁錮ニ申付ケ二円ヨリ
二十円マデノ罰金ヲ付添ルナリ

第七節 放火失火ノ罪
放火失火トハ放火ハ付ケ火失火ハ手アマチノ火
事ニテ此ヲノ所業ヤ其仕置ノ區別ヲ云フナリ

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス
火ヲ付ケテ人
敷ヲ燒キタルモノハ
死罪ニ申付ルナリ

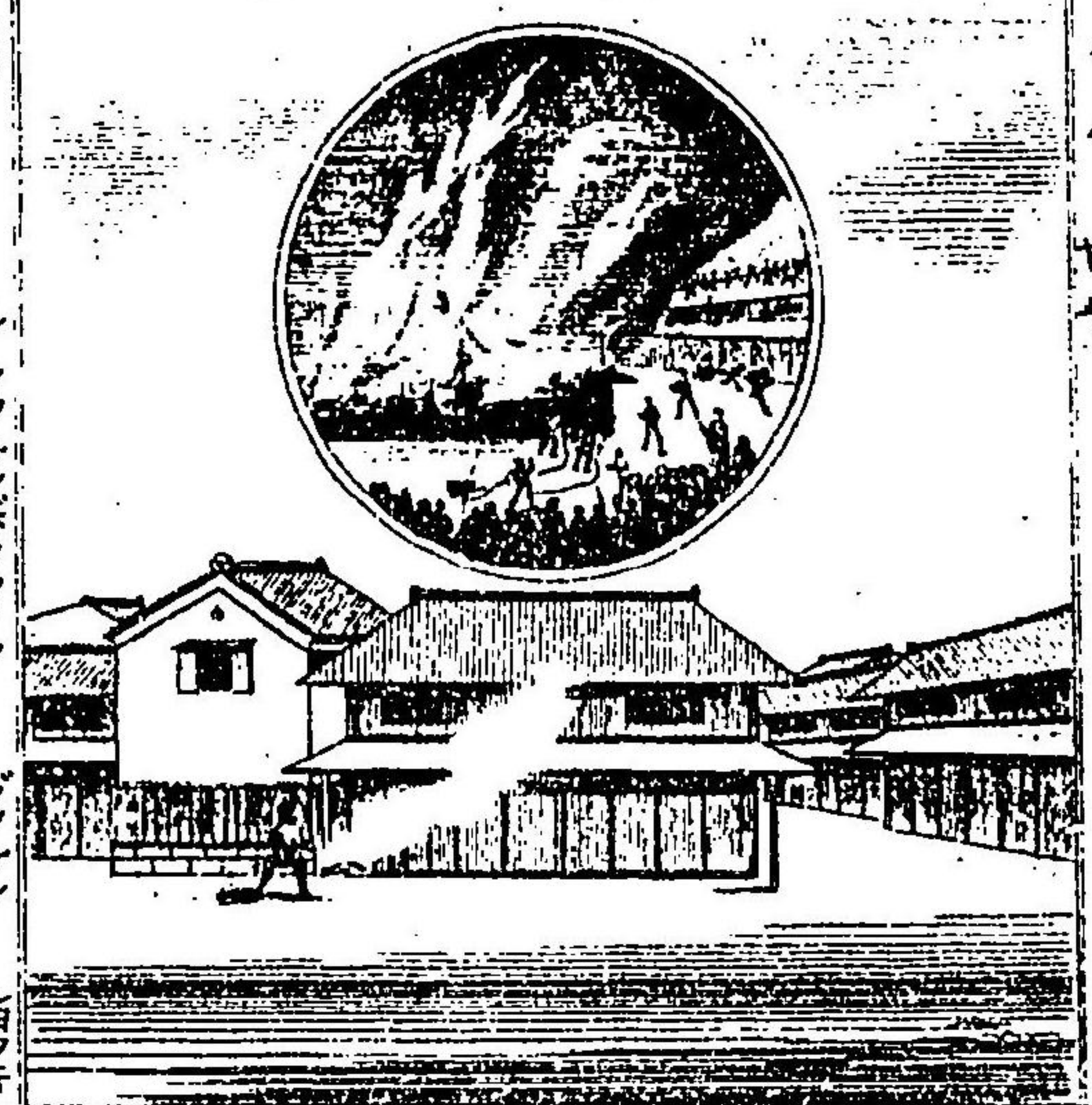
第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セザル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處
ス
人ノ住居セヌ家屋敷其他ノ建物ニ火ヲ付テ
燒キタルモノハ無期徒刑ニ申付ルナリ

第四百四條 火ヲ放テ燒屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス
火ヲツケテ毀レタ家又ハ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ申付ルナリ

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶漁車
ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス
人ヲ乘載セサル船舶漁車ニ係ル時ハ重懲役ニ
處ス
火ヲ付ケテ人ヲ乗セタル小艇大艇陸蒸氣
ヲ燒キタルモノハ死罪ニ申付ケ人ヲノセヌ
小艇大艇陸蒸氣デアリシハ重懲役ニ申付ルナ
リ

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ蓄積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬
シタル者ハ輕懲役ニ處ス
火ヲ付テ山ヤ樹ニ生立タル竹木田野畑野ナドニ生立タル穀麥
又ハ蓄積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲヤキタルモノハ

圖ノス火放ニ宅邸ノ人



シタル者ハ輕懲役ニ處ス
火ヲ付テ山ヤ樹ニ生立タル竹木田野畑野ナドニ生立タル穀麥
又ハ蓄積シタル柴草竹木其他ノ物件ヲヤキタルモノハ

輕懲役ニ申付ルナリ

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒毀シタル者ハ二月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪刑ニ處ス者六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣并蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第八節 決水ノ罪 決水トハ水ヲ漏シヤルニテ川又ハ池ナドノ土手ヲ毀シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トヲ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂流シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂流シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百十二條 堤防ノ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水開ヲ毀壞シ

其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス 其外水利ノ障害ヲ邪廣シタルモノハ一月ヨリ二年マデノ重禁錮ニ申付ケ二圓ヨリ二

十圓マデノ罰金ヲ 附加スルナリ

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處断ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪 船舶ヲ覆没スルトハ大船小船ヲヒツクリカヘ

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス

但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス 船舶小艇ヲヒツクリカヘシタルモノハ死刑ニ申付ル

無期徒刑ニ申付ルナリ

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乗載セサル船

船ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス 突當テ其外種々ノ

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物

ヲ害スル罪 國家家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植

物ヲ害スルトハ家屋敷品物ヲ

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處

シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス 國人ノ家屋敷其外ノ建造物ヲチコハシタルモノハ

円マデノ罰金ヲ 附加スルナリ

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處断ス



カ疵ヲ負セタルモノハ人ヲ打テ疵ヲ付タル者ニ非合セ此提ト比ラベテ見テドテラナリモ
仕置ノ重キカニ取概クナリ

第四百十八條

人ノ家屋ニ属スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊園牧場ノ柵欄ヲ毀壞

シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二円以上二十円以下ノ罰金三處ス

ノ家屋敷ニ付テタル垣ヤ壁又ハ庭池ノカザリ又ハ田圃ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ申付ケ二円ヨ

リ二十円マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第四百十九條

人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損

シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ

三円以上三十円以下ノ罰金三處ス

園人ノ田畑ニ作リ

テアルモノ竹木其外必ズ入用ノ植物即チ米麥ノ類ヲ荒シタルモノハ十
一日ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ルカ又ハ三円ヨリ
三十円マデノ罰金ヲ申付ルカ其時ノヤウスニ依リテ
ドテラカノ一方ニ取概クナリ



第四百二十條

土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以

下ノ重禁錮ニ處シ二円以上二十円以下ノ罰金ヲ附加ス

園地面ノ界ヲ印シタル品物例ヘバ
垣印ノ柱樹木ノ類ヲブチコハシ又

ハ其印ノ所ヲ番ヘタルモノハ一月ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付ケ二円ヨリ二十円マデノ
罰金ヲ付添ヘルナリ

第四百二十一條

人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三

円以上三十円以下ノ罰金ニ處ス 園人ノ道具ヲコハシステタルモノハ十一日ヨリ六月マデ

第四百二十二條

人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二円以上三

十円以下ノ罰金ヲ附加ス 園人ノ牛馬ヲ殺シタルモノハ一月ヨリ六月マデノ重禁錮ニ申付

第四百二十三條

前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二円以上二十円以下ノ罰

金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス 園前ノ條ニ書ノセタルヨリ外ノ家ニ飼フ鳥毛

罰金ヲ申付ル左レド畜ヲ受ケシモノヨリ
取出テネバ仕置ノ沙汰ニ及バヌナリ

○第四百二十四條 人ノ權利義務ニ関スル證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以上四年以下

ノ重禁錮ニ處シ三円以上三十円以下ノ罰金ヲ附加ス 圖人ノ權利義務(第二十條ノ証ヲ見

テ破リ捨テ無クシテシマフタルモノハ二月ヨリ四年マデノ重禁錮ニ申付ケ三円ヨリ三十

円マデノ罰金ヲ付添ヘルナリ

第四編

凡テ 違警罪 國違警罪ハ種々ノ惡事ノ中ノ極ノテ輕キ惡事ニシテ位置

ウニ因リ个個ノ機ヲ増スイモアルナリ然レモ此位置ヲ加ヘテ重クシテ輕クシ又

○第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上

一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス 圖切下ニ罰ノセル一ヨリ十四マデノ定メニ背キタルモノ

九十五錢マデノ過怠金ニ申付ルカ其時ノイウスニ依リ裁量復人ノ下見ニテ右エツノ内

一 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シタル者 圖機ヲ守ラズシ

テハシケル質ノ品物ヲ町内ニ 持チハコビシタル者

二 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ発ス可キ物品ヲ貯藏シタ

ル者 圖機ヲ守ラズシテ燃焼其物スベテハシケル品物又ハ自燃ニ火ノ出ルヤウナ品物

三 官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者 國役所ノ許ヲ受ケスニ花火ヲ燃ラヘ

四 人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者 國家ノ建テツマリタル所ニ

五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者 國蒸氣器具其

六 官署ノ督促ヲ受ケテ崩壊セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サル者 國役所ヨリ催促ヲ

七 官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者 國役所ノ許ヲ受ケズニ人ノ

八 自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者 國自分持

九 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者 國人ヲ打撃キテ疾モ付カズ

十 密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者 國娼妓ノ體ヲ受ケズシテ内々色ヲ賣

十一 人ノ住居セサル家屋内ニ潛伏シタル者 國人ノ住居セヌ家ノ内ニ

十二 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者 國取リキメタル住居

十三 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者 國役所ノ許ヲ受ケテ取極メテアル墓地ノ外

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽証シタル者但偽証ノ爲メ刑ヲ免カシタル時ハ第二

百十九條ノ例ニ從フ 國警ニ違フタルモノヲカバフ爲メウソノ証據立ヲナシタル者

○第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者八二日以上五目以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以

傍訓 刑罰法註釋 第四編 違警罪 ○百二

此 刑罰法

取計フナリ

定ノタル擬ニ非合シテ

取計フナリ

取計フナリ

取計フナリ

上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

此下ニ書ノセル一ヨリ十二マテノ定メニ背キタルモノハ二日ヨリ五日マテノ留置ニ申付ルガ又ハ五十錢ヨリ一圓五十錢マテノ懲息金ヲ申付ルガ其際ノイウスニ依リ裁判役人ノ了財ヲ以テ一方ノ仕置ニ取計ブナリ

一 人家近傍又ハ山林田野ニ於テ溢リニ火ヲ焚ク者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ナトニテ

二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

三 不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

四 健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ
豫防規則ニ違背シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ



五 人ノ通行ス可キ場所ニアル危険ノ井溝其他四所ニ蓋又ハ防圍ヲ爲サル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

六 路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ吠シ又ハ驚逸セシメタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

七 發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

八 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

九 變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

十 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚漬シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

十一 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚漬シタル者 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

十二 公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス 罰金ノ五キ所又ハ山林田野ニ於テ

此下ニ書ノセル一ヨリ十二マテノ定メニ背キタルモノハ二日ヨリ五日マテノ留置ニ申付ルガ又ハ五十錢ヨリ一圓五十錢マテノ懲息金ヲ申付ルガ其際ノイウスニ依リ裁判役人ノ了財ヲ以テ一方ノ仕置ニ取計ブナリ

ノ申出ルヲ待テ仕置スルナリナゼトナシバノ、シラレタルモノガ難解スレバノ、シリタル人ヲ仕置ニハナサズナリ

○第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留三處シ又ハ二十錢以

上二圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス 此下ニ罰ノセル一ヨリ十六マデノ定ニ處キタルモノハ一日ヨリ三日マデノ留置ニ申付ルカ又ハ二十錢ヨリ

一圓二十五錢マデノ過剰金ニ申付ルカ其時ノマウスニ依リ裁制役人ノ了見ニテトナシ

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ヲ妨害シタル者 我

手ニ鞭ヤ駢ヲハシラセテ往來ノ人ノ飛ハラナシタル者

二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ

牽キタル者 指止メラルハノ開スレズ人ノ大勢

三 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者 夜燈火ナシニ鞭ヤ馬ヲカケラセタル者但シ燈

四 水石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者 木ヤ石ナドヲ



テ圍ヲナサズ又ハ印ノ燈火オナナサズル者

五 瓦礫ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者 遊又ハ家屋敷庭ナドヘ

六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者 鳥ヤ毛モノ、死ガイヲ進ニナゲステ

七 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者 ヨコレテキタナキモノヲ進又ハ家屋敷庭ナ

八 警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者 警察ノ規ニ背キテ職業商賣ノ業ヲナ

九 醫師總務事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者 醫者取上ゲ渡ヤガ急病人アリテ

十 死亡ノ申告ヲ爲サスシテ埋葬シタル者 死人アリシ片其届ヲナサズシテ葬式シタル

十一 流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者 虚言ヲ云解シテ人ヲ

十二 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑ハシ利ヲ圖ル者 虚偽ニヨリ斷

ワヒヲ云脚カセ又ハ祈禱マジナヒヲナシ人ヲマドワシ巴レノモウケヲナサフトシタル者

十三 私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者 國自餘ノ持地ノ外へ勝手自餘ニ家垣塼ヲ持テ又ハ

ハヒサシナドヲ出シタル者

十四 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者 國後附ノ許ヲ受ケズニ道バタ又ハ川バタニ床店

者ヲ出シタル者

十五 路上ノ樹木市街ノ常燈及ヒ厠場等ヲ毀損シタル者 國道バタノ樹木町中ノ常夜燈又ハ便所ナドヲコハ

シタル者

十六 道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者 國道橋梁其他ノ所ニ建タル往來止メノ札又ハ道ヲ知ラ

シタル者

○第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科



料ニ處ス 國此下ニ書ノセル一ヨリ十一マデノ定メニ背キタルモノハ一日ノ留置ヲ申付ル方又ハ十錢ヨリ一円マデノ過怠金ヲ申付ルカ其ノヤウスニヨリ裁判役ノ見計

一 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者 國後附ヨリ直般ヲ定メタル物品ヲ定直般ヨリ以上ニ賣リ

二 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者 國シ場橋其外ノ所ニ取極テアルヨリ上ノ通行錢ヲ取り又ハ此レト云フ廉ナキニ通ル邪

三 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者 國渡船橋其外通行錢ヲ拂ハネハナラヌ所ニテ其定メノ

四 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ為シタル者 國道バタニテ博奕ニ似奇リタル商買ヲナ

五 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタル者 國後附ノ許ヲ受ケ

ズニ芝居其外見セ

物場ヲ開キ又ハ其
概ニ背キタル者

六 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者

ヲ受ケナガラ溝渠
下水ヲ浚ヘヌ者

七 制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列スル者

ラベタ
ル者

八 官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者

又ハカフ
タル者

九 身體ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

十一 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

第四百二十九條

左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス

一 橋梁又ハ堤防ノ害ト為ル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

二 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ水石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ為シタル者

三 車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ為シタル者

四 水路ニ於テ舟ヲ並ベ通船ノ妨害ヲ為シタル者

五 氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

六 官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ為サザル者

七 制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ為シ行人ノ妨害ヲ為シタル者

八 官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放チ又ハ牧畜シタル者

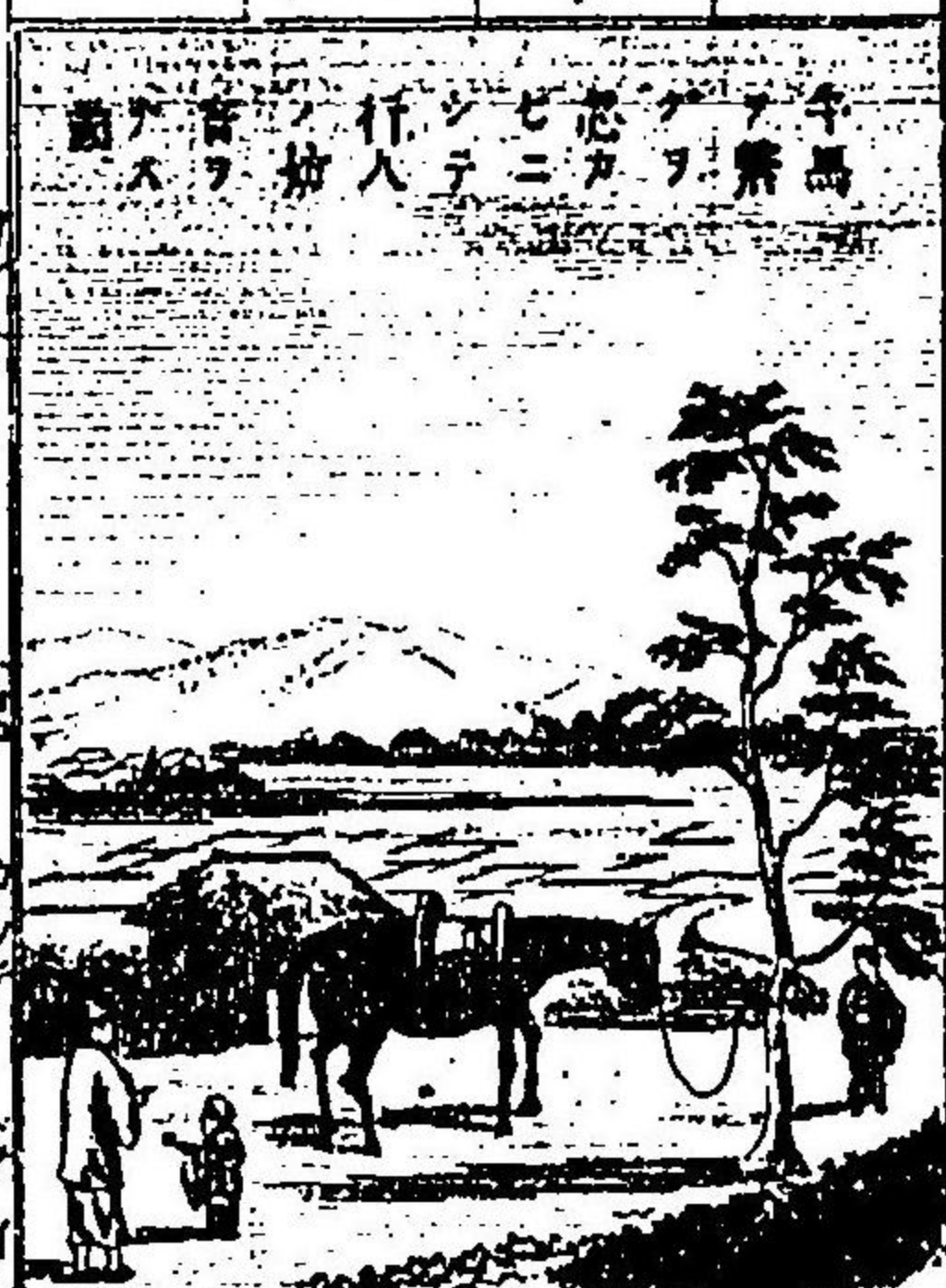
九 身體ニ刺文ヲ為シ及ヒ之ヲ業トスル者

十 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

ルハノ飛六チ
ナシタル者

八

牛馬ヲ牽キ又ハ繫ク一チ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ為シタル者
牛馬ヲ牽キ又ハ繫クハ心ヲ付ネバナラヌニ之チ心付ズシテ通ルル人ノ飛六チナシタル者



九

出入ヲ禁止シタル場所ヲ濫リニ出入シタル者
出入リチ指止メタル所ヲ勝手ニ出入ル者

十

通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者
通行禁止ノ榜示アルチ知リナガラ通リタル者

十一

道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者
道路ニ於テ歌ヲウタヒ又ハ大聲ヲ出シテ之レチ指止メラル、モ聞入レヌ者

十二

酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉卧シタル者
酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉卧シタル者ハ醉卧シタル者ハ醉例レタル者

十三

路上ノ常燈ヲ消シタル者
路上ノ常燈ヲ消シタル者

十四

人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者
人家ノ家ノ垣ヤ壁ニ張紙ヲナシ又ハラク書シタル者

十五

邸宅ノ番號標札招牌及ハ貸家賣家ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者
名前札番號及ハカシ家ウリ家ノ張紙其外知ラセノ建札ナドヲコハシタル者

十六

他人ノ田野園圃ニ於テ茶菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者
他人ノ田野園圃ニ於テ茶菓ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者

十七

公園ノ規則ヲ犯シタル者
公園ノ規則ヲ犯シタル者

十八

通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者
通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

第四百三十條

前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者
前數條ニ記載スルノ外各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者

者ハ其罰則ニ從テ處断ス

者ハ其罰則ニ從テ處断ス
者ハ其罰則ニ從テ處断ス

傍訓

傍訓
傍訓

刑注註釋

刑注註釋
刑注註釋

第四編

第四編
第四編

違警罪

違警罪
違警罪

○百七

○百七
○百七

比

比
比

寸

寸
寸

裁

裁
裁

版

版
版

テ取擲クナリ左レド留置ト過怠金トノ仕置ノ外別ニ仕置ヲ定ムルコトナク又其留置ノ日數
過怠金ノ高モ此提ヨリ除ルコトナキハ勿論ナル可シ

傍訓 刑法註釋 畢

明治十五年三月十七日版權免許
同 年四月十五日出版發售

明治十五年
四月五日
製本式變更
御届

註釋人

岡山縣士族

定價金八拾錢

岡寄策郎

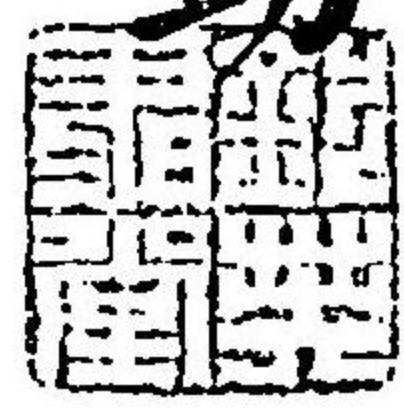
大坂府南區宗右衛門町
甲六十五番濱地寄留

大坂府平民

出版人

此村庄助

大坂府南區順慶町通
四丁目三番地



大 阪 弘 通 書 肆

梅原龜	吉岡平	此村彦	小谷守	華井卯	北尾禹	鹿田静	赤志忠	岡島真	淺井吉	森木太	柳原喜	三木佐	九善支	前川源	前川善	小島伊	青水恒	岡田茂	中川勘	小川新	大野市	松村九	田中太	

作	橋	雲	伯	甲	尾	同	伊	攝	同	和	河	同	同	同	同	大	同	同	西	同	同	東		
乃	州	州	州	州	張	松	勢	津	神	泉	内	法	五	五	南	和	同	同	京					
津	松	松	倉	府	名	阪	野	野	野	塚	田	隆	所	條	水	奈								
山	江	江	吉	屋	吉	屋	津	野	野	塚	林	寺				長								

文	伊	園	中	内	片	水	篠	豐	熊	北	鈴	北	岡	岸	山	藤	高	杉	田	佐	小	東	北	
華	藤	山	村	藤	野	屋	田	住	谷	村	水	野	水			田	山	木	中	々	林	生	畠	
	和	喜	清	傳	東	嘉	伊	伊	鳩	佐	久	以	庄	宣	傳	伊	梅	甚	治	惣	喜	茂	茂	
堂	七	右	三	右	四	十	十	兵	居	三	三	冬	治	美	郎	郎	郎	助	衛	四	右	次	兵	
	郎	衛	衛	衛	郎	郎	郎	衛	堂	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
藤	紀	紀	豐	豐	同	筑	同	土	同	讀	同	同	同	同	同	同	同	同	阿	同	紀	長	備
後	後	後	後	後	久	前	佐	佐	枝	高	富	高	高	高	高	高	高	高	波	湯	洲	洲	前
見	熊	長	府	小	留	福	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	德	淺	和	山	山
島	木	崎	内	倉	米	岡	和	和	松	松	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	島	山	山	山	山

吉	青	水	鶴	山	中	豐	林	澤	改	錦	岡	和	滅	井	阪	黑	小	黑	世	岩	平	宮	細
田	水	崎	野	川	島	田	水	水	田	田	同	同	谷	開	井	崎	川	崎	渡	岩	井	部	部
幸	恭	貫	四	正	純	分	分	分	民	榮	為	長	長	久	萬	源	六	精	文	種	文	臣	謹
平	輔	之	郎	郎	助	平	助	吉	藏	堂	助	一	平	吉	吉	助	郎	二	吉	助	助	吉	堂

